

令和 8 (2026) 年度
学習院大学大学院
経済学研究科・博士前期課程
試験区分 (社会人・A 日程)
入学試験問題

9:40～11:40	12:40～13:40
小論文	英語

令和8(2026)年度
学習院大学大学院
経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程

社会人入試 A日程
2 時限目

英 語

1. 解答用紙の追加を希望する者は係員に申し出ること。1 枚まで追加を認める。この場合、配付直後に必ず追加の解答用紙に試験科目、受験番号、氏名を記入すること。いずれも試験終了時に回収する。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	経済学研究科	受 験 番 号	カナ	
					氏 名	
試 験 科 目	2026 年度 (A 日程) 英 語	備 考	問 題 用 紙	採 点 欄		

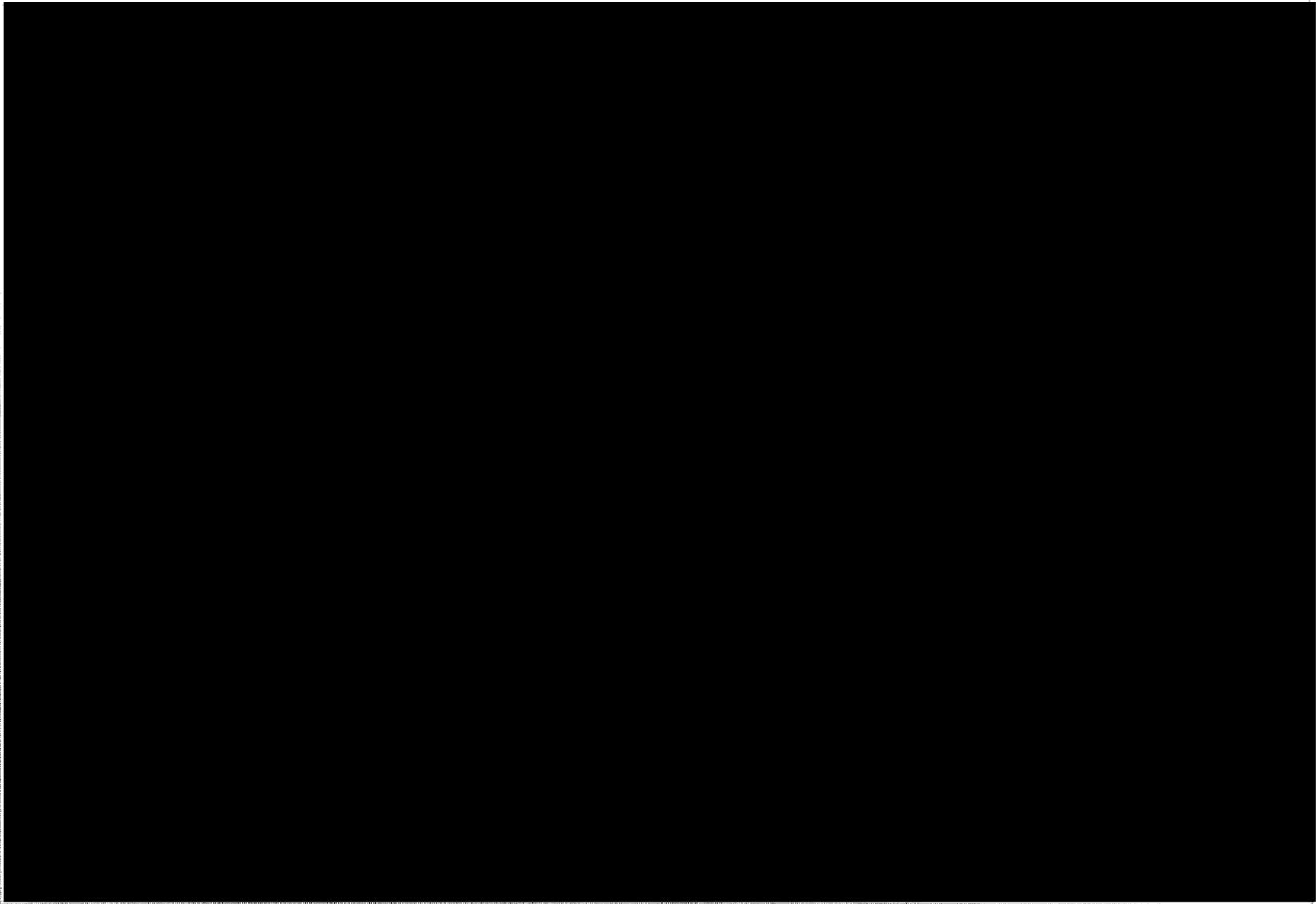
下記は、David Autor, David A. Mindell, and Elisabeth B. Reynolds による "The Work of the Future: Building Better Jobs in an Age of Intelligent Machines" の一節です。

問 1 下線(1)の文章を訳しなさい。

問 2 下線(2)について、本文中の議論をもとにどのような場合がありうるか 100 字以内でまとめなさい。ただし、各句読点も 1 字に数える。

問 3 下線(3)の文章を訳しなさい。

問 4 下線(4)について、何が起きたかを日本語でまとめなさい。



(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	経済学研究科	専 攻	経済学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2026年度（A日程） 英語			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30

◆出題の意図

経済学研究科での学習および研究活動を行う上で、学術誌レベルの英語を読解し、内容を理解する力は必要不可欠となる。本問では、実際の経済学の研究をもとにした文章を出題することで、大学院での活動に必要なスキルの有無を把握する。

◆解答又は解答例

問 1

[Redacted text for Question 1]

問 2

[Redacted text for Question 2]

問 3

[Redacted text for Question 3]

問 4

[Redacted text for Question 4]